

こもれび

題字 北村正平市長



藤枝市スポーツ推進委員会 豊川市視察研修にて

第33号



- ・静岡県スポーツ推進委員 研究大会(8/4)
- ・審判研修会(8/23)
- ・第23回藤枝市室内ペタンク大会(8/25)
- ・ニュースポーツ教室(9月～10月)
- ・第7回藤枝市ワンバウンドふらば～る大会(10/6)
- ・豊川市への視察研修(10/19.20)
- ・スポーツ＆健康フェスタ(12/7)

編集・発行

藤枝市スポーツ推進委員会
広報部

2025年1月

静岡県スポーツ推進委員 研究大会

令和6年8月4日(日)
可美公園総合センター

今年は湖西市スポーツ推進委員会が主幹となり、県下の多くのスポーツ推進委員参加の元、功労者及び永年勤続表彰、牧之原市、吉田町の研究発表、静岡ブルーレヴズの山谷社長を講師に講演が行われ、藤枝市からは12人のスポーツ推進委員が参加しました。

令和6年度静岡県スポーツ推進委員研究大会に参加しましたので報告いたします。会場は浜松市にある可美公園総合センターで開催され、県内各市町スポーツ推進委員(約400人)が参加しました。スポーツ推進委員研究大会の目的をもとに「誰もが楽しめるスポーツの推進」を主題に進められました。議事は、関係者挨拶、各種功労者表彰、牧之原市及び吉田町の事例研究発表、講師山谷拓志の講演と続きました。事例研究発表では牧之原市の「コロナを乗り越えて今！」ニュースポーツとして「干支吹き矢」を取り入れた活動の取り組み～続いて吉田町の「生涯スポーツの普及とスポーツ推進委員の関わり」～町民一人一スポーツを目指して～を演題にして説明だけではなく実演も含めわかりやすく講演いただき良かったと思います。

静岡ブルーレヴズ(株)社長山谷拓志さんの講演、演題「プロスポーツ選手に学ぶモチベーションの高め方」は直接スポーツ推進委員活動に役立てるのは難しいとは思いますがとても興味深い内容でした。功労者表彰では42年間推進委員をされている方から挨拶があり驚きました。今回の経験は今後の推進委員活動に役立てたいと思います。

藤沼 直志

審判研修会

令和6年8月23日(金)
藤枝小学校 体育館

藤枝市スポーツ推進委員の審判技術及びルール確認の徹底を図るべく、「ワンバウンドふらば～る」「ペタンク」の各大会に向けて33名が集い、研修会が行われました。

先日8月23日(金)、午後7時から藤枝小学校体育館におきまして審判研修会が開催されました。

後期の各教室においてや、今後のイベントにおける委員の審判技能の習得、向上とルール確認としり合わせを目的として、フラバールとペタンク競技について実施されたものです。

私自身は、後期のフラバール教室に指導員として参加するため、当該競技の審判法を、主に副審について学ばせて貰いました。

副審の仕事の中で特に、タッチネットとセンターラインオーバーをチェックすることが難しく、課題として認識できました。

今後の活動に向けて、審判技術の向上に努めていきたいと思います。

櫻井 浩之

西益津第一自治会選任の西形新一です。令和6年4月から1期2年の任期でお世話になります。

町内会三役やなんやかんやを一通り務め上げやれやれと思っていたところにスポーツ推進委員の話が…参りました。

膝・腰の痛い後期高齢者に対して何という仕打ちかとも思いましたが、町内会三役の時いろんな方にお世話になり無理も聞いていただいておりましたので、まあしょうがないかなーとお受けしました。

委嘱状交付式や新任研修会等で市内各地の委員の方をお見掛けすると、スポーツ推進委員然とした方が多々おられ、やっぱしスポーツ推進委員の集まりだと感じ羨ましく思った次第です。

何やかやしながら就任から5か月を経過しようとしております。この8月23日に審判研修会が開催され私は室内ペタンクの担当となりました。2コートに分かれゲームをしながら交代交代に審判の講習も行われました。西益津地区でもペタンク大会を開催していて審判をやりましたが、和気あいあいと楽しくがモットーにやっていますので気楽にやっておりました。

これから市の大会の審判としての責務を担うには競技規則の理解、審判技術の向上に努めなくてはと思う今日この頃です。

西形新一

第23回藤枝市室内ペタンク大会

令和6年8月25日(日) 藤枝市民体育館

市内のペタンク愛好者16チーム総勢57名の方々が集い、盛大に大会が執り行われました。

ペタンク大会に初めて審判として参加しました。先日受けた審判講習の成果が発揮でき、16チームもの多くの選手が参加する中で、幅広い年代層の交流を図ることができたと思います。

初めての審判ということで緊張もありましたが、ルールについてあやふやなところを事前に話し合っていた事と、本部のバックアップ体制が整っていたおかげで、安心して審判を務めることができました。

特に、同ブロック内の審判の方や参加者の方々のサポートもあり、スムーズにゲームを進行することができたと思います。

大会を通じて、ペタンクの楽しさの再確認ができ、幼児からご高齢の方までが一緒に楽しむ姿はスポーツの持つ力だと感じました。ふらばーるバレーのように複雑な判断を要す競技ではなかったですが、審判としての責任感や判断力を養うことができました。また、ペタンクの普及と発展に貢献できるよう、引き続き努力していきたいと思います。

深田 智

★大会結果★

Aブロック第1位
西益津自治会

Bブロック第1位
桂島チーム

Cブロック第1位
広幡D

Dブロック第1位
広幡E



HPも
チェック！



8月25日(日)に第23回室内ペタンク大会が市民体育館で行われました。

連日の猛暑のなか、会場内は適度な管内空調を保ちつつ、快適にゲームを楽しむことができました。

参加者の年代は幅広く、8歳から80歳代後半の方、ご近所、友人、ファミリーでのチーム編成とし、総勢100人近くの方たちで盛り上がりました。

ゲームの性質上、複雑なルールもないため、初心者の方でもリハビリ中の方でも安全に楽しくゲームができるところが、ペタンクの魅力だと思います。

チーム毎の盛り上がりはもちろんですが、応援団の方たちも一緒に楽しい時間を過ごすことができました。

穏やかで安心して楽しめるスポーツが市民の皆様に広がっていけばうれしいです。指導スタッフの皆様お疲れ様でした。

尾澤 正訓



ニュースポーツ教室

令和6年9月～10月に各教室7回開催

室内ペタンク・カローリング

9月10日～10月22日の毎週火曜日

不安の中、始まった後期教室ですが、結果は参加者数の少なさが幸いして、二種目の配分に関しては、理想的な運営ができました。カローリング×1、室内ペタンク×1の2コートで5日間、6・7日目はそれぞれカローリング、ペタンクのリーグ戦を3試合(チーム)ずつ行いました。生徒さんのグループ分けは毎回くじ引きとし、指導スタッフも両方を担当しました。

参加費を払って受講される生徒さんは、カローリングを体験するのが目的だったのではないか、と今は思います。(今回、ペタンクが初めての方は1名でしたし、前期教室でもカローリングは楽しい、と言っていました)ならば、その回数を増やすなければならないし、最低でも、二種目の配分は等分でないといけないのでないでしょうか。

比してこちらは、カローリングは室内ペタンク教室のおまけ、みたいな意識がありました。投げ方以外は解らず、試合の楽しさを知らないスタッフがどう教えるのか、と悩む中、幸いなことにこれも、経験のある新任の推進委員の方がいて、それを手本にして進めて行きました。

今回はこのように、偶然が重なり、大筋としてはうまくいってしまいました。加えて、準備体操後にあっちだ、こっちだという指示にも、気持ち良く答えてくれたスタッフの方々、生徒さんの欠席の折に速やかにグループに入ってくれた委員長以下の皆様方、ほんとうにありがとうございました。また、新任の推進委員の方々にも、審判や進め方を少しでも経験してもらえたかな、と思っています。

細谷 一男



ワンバウンドふらば～る

9月12日～10月24日の毎週木曜日

今回のワンバウンドふらばーる教室は指導主任という立場で参加させていただきました。生徒さんの数が少なくて教室が成り立つのかなあという不安がありましたが、教室担当以外の推進委員さんが多数参加して下さり、何とか形になりました。この場を借りてお礼申し上げます。

生徒さんも初心者ではなく、経験者ばかりだったので、主に試合形式での指導となりました。その中で戦術的な事を少しアドバイスしてあげると、非常に興味を持って下さり、上手になりたいという意気込みを感じる事が出来、非常に嬉しかったです。

7回の教室の中でも、動きが良くなり、最後はアタックも上手になり、とても上達したなと感じる期間だったと思います。また機会がありましたらぜひ参加してふらばーるの楽しさを教えていきたいと思います。

一つ課題として、生徒さんの募集方法、周知期間、周知方法の改善を図り、参加者増加を考えなくてはいけないなと思いました。

横山敦志



ミニトランポウォーク

9月13日～10月25日の毎週金曜日

後期のミニトランポウォーク教室の指導スタッフを経験させて頂き指導の先生方、スタッフの皆様ありがとうございました。

4月の新任研修会を初め前期のニュースポーツ教室を体験した時は、正直ちょっと、きついスポーツだなって感じましたが、普段から少しウォーキングをしているので今回、後藤さんから依頼された時、迷わず引き受けることができました。

実際にトランポウォークを続けてみると普段とは違い心地良い爽快感や満足感の方が上回って楽しくなってきました。

また、会場の準備の際も皆さんと楽しくできましたし、生徒さんも毎回楽しそうにやっているのを見てこれからも続けていきたいと強く思えました。

皆さんのが優しくご指導して下さった事にとても感謝しています。たいしてお役にたてませんでしたが、これからも宜しくお願ひ致します。

岩ヶ谷藤生

第7回藤枝市ワンバウンドふらば～る大会

令和6年10月6日(日) 藤枝市民体育館

今年で第7回目となるワンバウンドふらば～る大会が16チーム
111名の参加者で子どもから大人まで大勢で楽しみました。

今回は、反省と失敗を記載します。

まず、コート設営のラインテープを床に貼る順番は、横センターを最初に貼り次に横に移り、短い縦のテープを貼る。そして最後に、外側のテープの短い方から、張ることで、めくれ上がりを極力防げることを学んだ。

また、動体視力低下の為、ネットタッチやオーバーネット、ネット上のポールに触れたのが、よく見えない。ラリーが長く続いてネットにかかり、4回目返球された時に、頭が混乱をして、ジャジを間違う事もあったので、青北ふらば～る練習にて、改善したいと思っている。

その他に得点係が、得点の加算忘れや対戦相手のチームに入れてしまうことも見受けられたので、主審は、得点をよく確認し、ゲームの進行をするのが必要である。また、ゲーム終了時は、得点を読み上げてチームの責任者に確認をする事も大事だと思う。最後に皆様お疲れ様でした。

竹山 正美



★大会結果★

Aコート

▲第1位 WBC Bチーム

Bコート

▲第1位 HEROES

Cコート

▲第1位 WBC Aチーム

Dコート

▲第1位 昔は美人(?)

HPもチェック！



豊川市への視察研修

令和6年10月19日(土)～20日(日) 愛知県豊川市

毎年恒例となっている先進地への視察研修ですが、今年は愛知県豊川市にお世話になることになりました。但し、10月ということで藤枝市内各地での祭事等と重なり、参加者が6名と少し寂しい人数となってしまいました。

10月19日、20日に1泊2日で愛知県豊川市を訪問し、豊川市スポーツ推進委員の皆様と意見交換・実技研修を行いました。

意見交換では活発な意見が飛び交い、藤枝市と共通の課題があることがわかりました。

実技研修では室内モルックを教えていただきました。豊川市独自の手作りの道具を使用して、室内でもできるように工夫していました。材料、作り方などを教えていただきました。藤枝市でもできたらいいなと思いました。

ワンバンドふらば～るは、数年前に豊川市が藤枝市へ視察研修に来たときに持ち帰ったもので、ルールは少し変わっていましたが、とても楽しく交流できました。

また、運動公園(陸上競技場、野球場、テニスコート12面、遊び場)を見て回り、隣接して総合体育館(工事中で見れなかった)もありました。その他、サッカー場、野球場、テニスコート、パターゴルフ場など複数ありスポーツを楽しみ施設が充実しているなと思いました。

翌日はパターゴルフを始めて体験しました。はじめは18番までたどり着けるか心配でしたが、なんとか18番まで終わることができました。やってみるととても面白く楽しかったです。

9月の予定から10月に代わり、いろいろな行事と重なり参加者が6人と少なかったですが、有意義な視察研修だったと思います。企画してくださった事務局の方々ありがとうございました。

朝比奈 友見



スポーツ＆健康フェスタ2024

令和6年12月7日(土) 静岡県武道館

スポーツ＆健康フェスタに約1,300名の参加者が訪れ、大いに盛り上りました。

先週は持病の腰痛が発症してしまいトイレに行くのも大変な状態でした。幸い何とか動けるようになっての健康フェスタでした。健康の有り難みを感じています。

昨年に続き、今年もカメラファインダーからのフェスタです。今年は孫家族も参加です。孫はチアガールのパフォーマンスに目を輝かせています。もう一人はビームライフルで高得点を得て大喜びです。各種スポーツに参加の子供達は目の色が違います。上手くいったと喜び、失敗したと悔しがりますがみんな笑顔です。色々なスポーツに触れての成長が楽しみです。

また我々大人は今の健康状態を知ることは大切で、健康コーナーに並んでいた奥様方は少し不安そうな顔をして検査結果に一喜一憂していました。

静岡県は健康寿命日本一と新聞に載っていました。私もその中の一人としてこれからも健康を維持する事に気を使い、腰と仲良くしスポーツを楽しむみたいと思います。

山田 泰幸



車いす体験

ウォーキング フットボール





健康コーナー



eスポーツ



チップネス
キッズ藤枝



チップネス藤枝レッスン体験
Punch'n Kick



編集後記

師走(しわす)の「師」は僧侶、お坊さんことを表しています。僧侶、お坊さんのようにいつもは落ち着いている人でも、12月「走」りまわるほど忙しい月だというところで、12月が「師走」と呼ばれるようになったのです。

12月はイベントが盛りだくさんで忙しい時期です。

年越しという一大イベントに向け、皆がせわしない様子を感じることもあるのではないでしょうか。

朝比奈 友見

